

島根原子力発電所 安全対策等の実施状況をお知らせします 【平成23年10月】

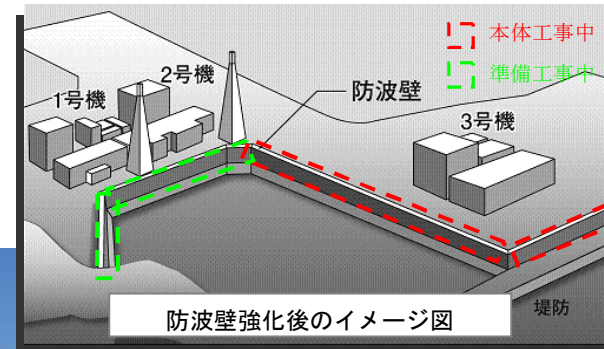
防波壁の強化

さらなる信頼性向上対策として、発電所構内全域を海拔15mの防波壁で囲むこととしています。

[平成25年内に完了予定]

【トピックス ①】

■ 3号機北側および東側エリアの防波壁工事では、鉄筋の組み立てやコンクリート打設など本体工事に着手しています。



コンクリート打設後の防波壁

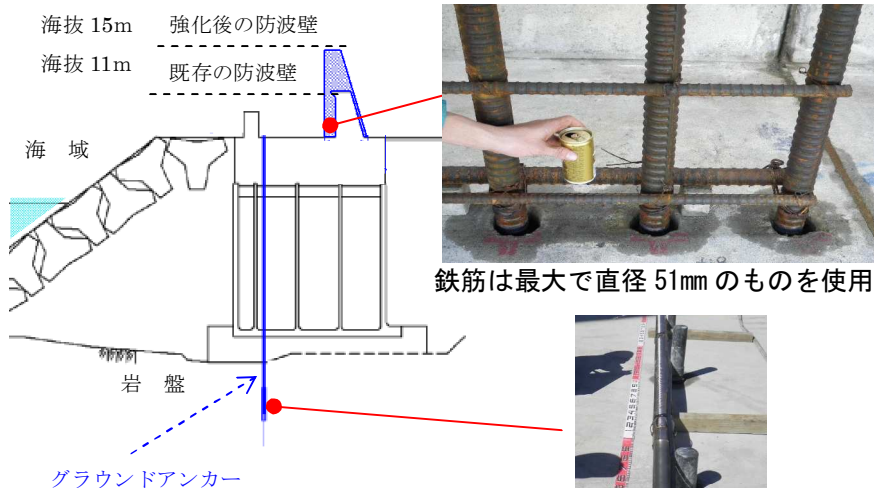


3号機北側エリアの防波壁工事の様子

【トピックス ②】

■ 防波壁は、「地震の揺れ」と「津波の衝撃」の両方に耐えることが要求されます。3号機北側エリアでは、直径51mmの鉄筋や、防波壁本体を岩盤と一体化させるためのグラウンドアンカーの採用などにより、防波壁をより強固な構造とするための工事を実施しています。

3号機北側エリア防波壁の構造



グラウンドアンカー（鋼製）

☑ 特殊コンクリート製型枠の採用

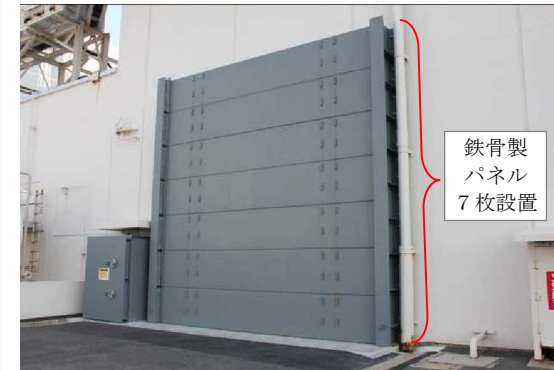
3号機北側エリア防波壁の工事では、耐久性のあるコンクリート製の型枠を使用するとともに、コンクリートを流し込んで防波壁本体と一体化させる工法を採用しています。施工後の型枠取り外しが不要となるため、工期短縮や廃材発生量の減少などの特徴があります。



建物の浸水防止対策

建物内の安全上重要な設備を保護するため、防水性を高めた扉への取り替え等を行います。

[1・2号機*平成24年度内、3号機平成23年内完了予定]



鉄骨製
パネル
7枚設置

1号機タービン建物大物搬入口に鉄骨製のパネル（3t×7枚）を追加設置しました。3号機建物の扉を防水性の高いものに取り替えています。



※ 1・2号機の緊急安全対策は実施済み

高台（海拔約40m）への緊急用発電機の追加設置

非常用ディーゼル発電機のバックアップとして、ガスタービン発電機（1万2千kW級×2台）を発電所敷地内の高台に設置します。[平成23年内に完了予定]

【トピックス】

- ガスタービン発電機（2台）の据付工事を行っています。
- 燃料タンク（300リットル）の据付が完了しました。今後、さらに大容量のタンク（560リットル）を設置予定です。



ガスタービン発電機
設置工事の様子

燃料タンク（300リットル）



緊急時対応訓練（夜間）の実施

地震・津波による全交流電源の喪失等の過酷な状況を想定した緊急時対応訓練を継続的に実施しています。

【トピックス】

- 平成23年9月、津波被害を想定した夜間訓練を実施しました。



夜間訓練（電源供給訓練）の様子

《今後の予定》引き続き、緊急用発電機設置工事、防波壁の強化工事等を進めてまいります。